

科目名		病理形態学実習	
科目責任者		中山 敏 幸 (第2病理学 教授)	
開講時期:	2～4年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 90 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>全身臓器において組織形態や細胞形態から疾患を理解する。また、臓器および細胞機能の変化を明らかにするため、実験動物や培養細胞を利用し病理細胞学的手法を用いて検討し、形態や機能に関与する分子病態を明らかにする。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 全身臓器の正常組織・細胞の構造を理解し、概説できる。</li> <li>2) 全身の各臓器毎に疾患の組織・細胞変化を理解し、概説できる。</li> <li>3) 実験動物や遺伝子改変に関する申請書類を作成することができる。</li> <li>4) 細胞のシグナル分子の機能を分子病理学的に制御することができる。</li> <li>5) 実験動物や培養細胞等に病理学的手法を応用する。</li> <li>6) 臓器・細胞機能変化と分子機能変化との因果関係を考察することができる。</li> <li>7) 臓器・細胞機能に関与する分子病態機序をモデル化することができる。</li> </ol>			
● 評価方法	検討会での討論(40%)・発表(20%)・レポート(40%)等で総合評価する。		
● 参考文献	実習の中で必要に応じ紹介する。		